

# 振動スピーカ駆動装置取扱い説明書Rev1

2016/02/03

本装置はピタッとスピーカなどの9個の音響装置への振動周波数をプログラムにより任意に出力できる振動スピーカ駆動装置です。

## 1、概要

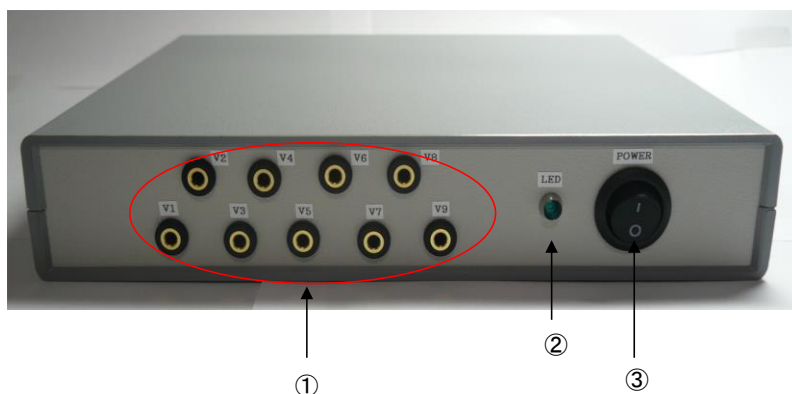
装置はRS232C経由でPCより装置内DACチャンネル出力制御、および正弦波テーブルを選択し、外部に接続したピタッとスピーカなどの9個の音響装置を振動させる振動周波数発生装置です。

DACは8bit 12ch選択可能なM62398FPを使用し、その内の9chを使用しておりますので多くの情報を伝達することが可能です。

正弦波テーブルはプログラムにより任意に変更可能ですが、装置内RCフィルターは周波数に応じて抵抗定数を変更する必要があります。

## 2、構成

### 1) 前面



#### ① V1 ～ V9

振動スピーカ駆動出力1～9。

#### ② POWER LED (青)

電源ON時に点灯します

#### ③ 電源スイッチ

ロック式です。

注1) ①は3.5Φミニジャック・ステレオタイプ

## 2) 背面



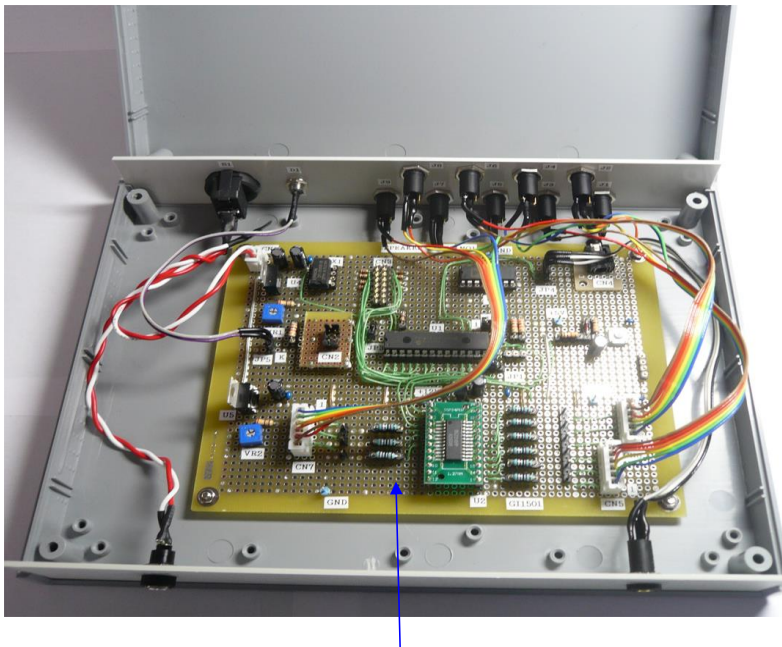
④ DC 24V/0.75A 入力

⑤ RS-232C

通信速度: 9600bps、データ: 8bit、パリティ: 無し、ストップビット: 1bit  
注2) 3.5φミニジャック・ステレオタイプ

## 3、基板構成

VIB\_SPEAKER CONT2基板の1枚構成となります。



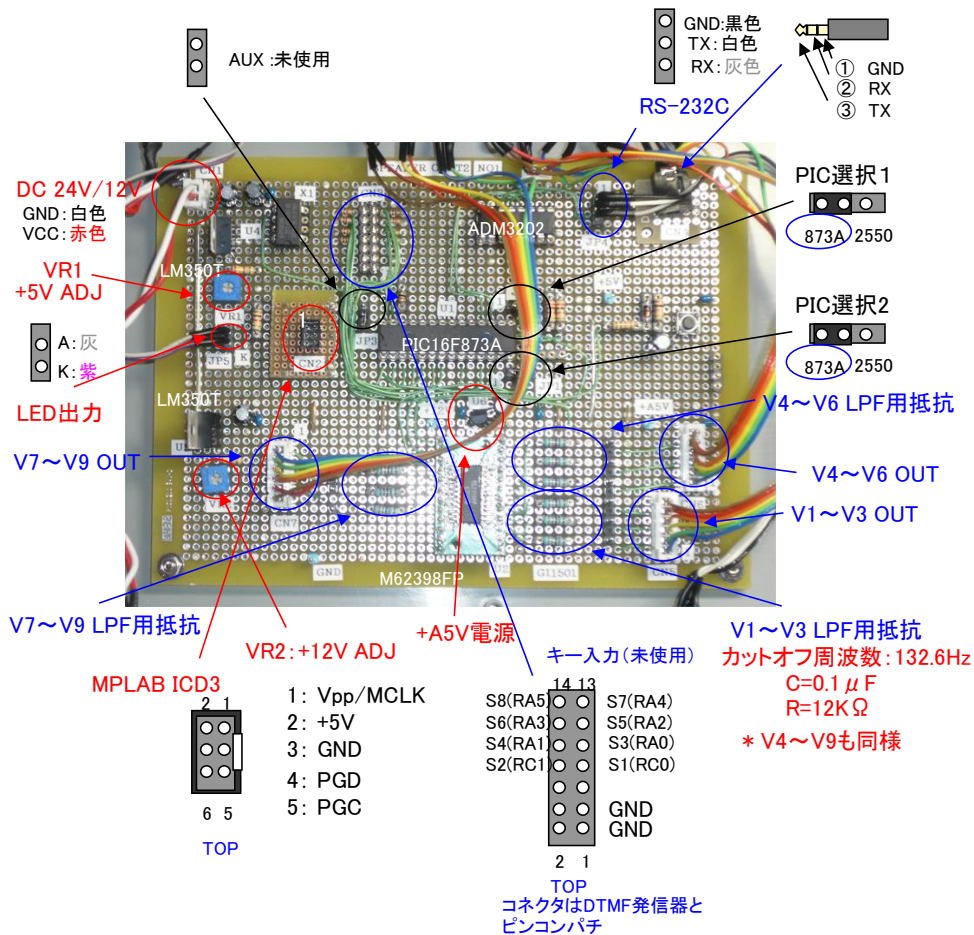
VIB\_SPEAKER CONT2(M62398FP)基板

# 1) VIB\_SPEAKER CONT2基板

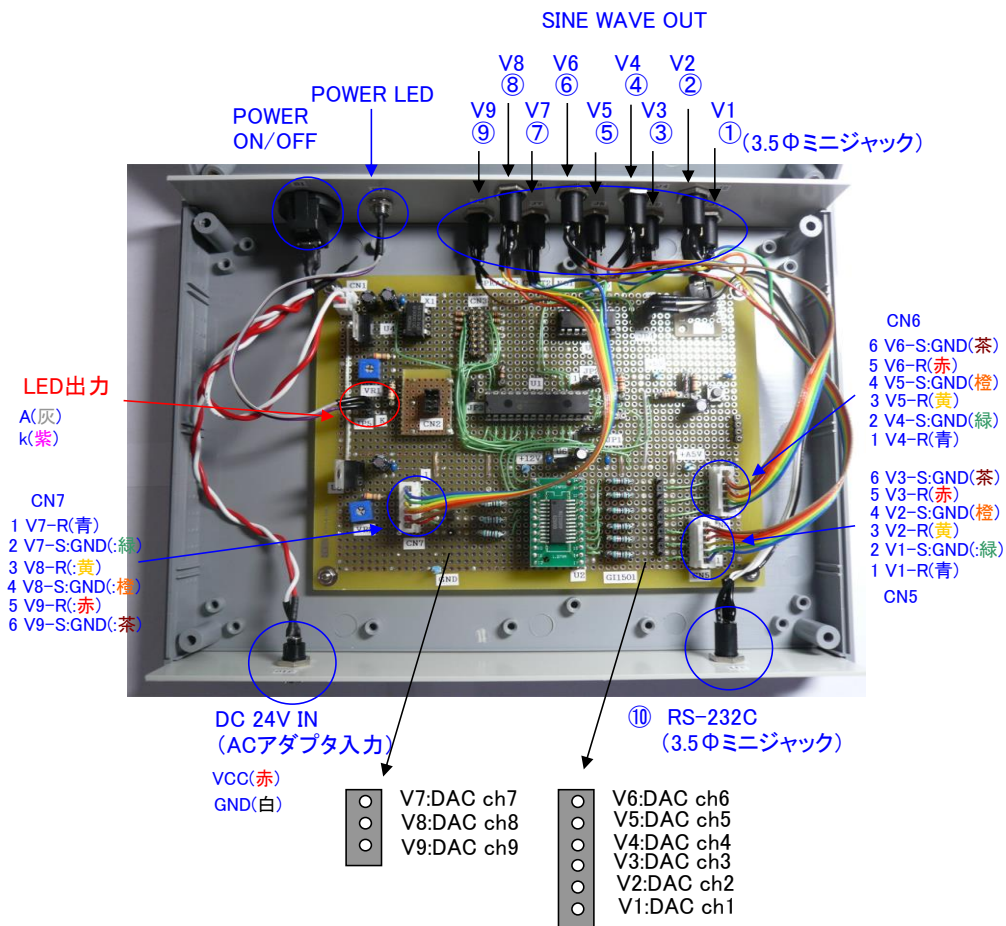
RS232C経由でPCより基板内DACチャンネル出力制御、および正弦波テーブルを選択し、V1～V9の9個の出力に接続した外部ピタッとスピーカなどの音響装置を振動させます。

DACはM62398FP(8bit 12ch)を使用しています。

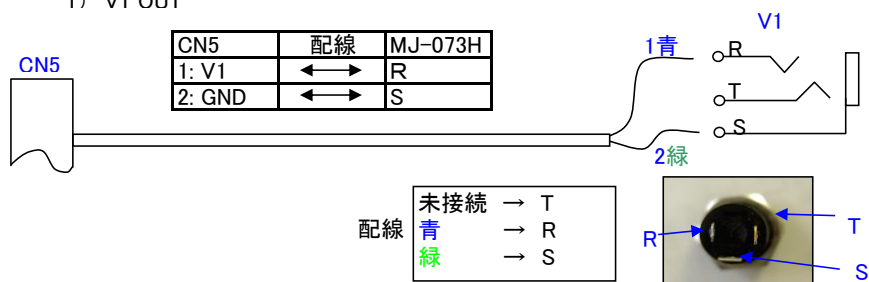
RS232C: どちらか一方を使用



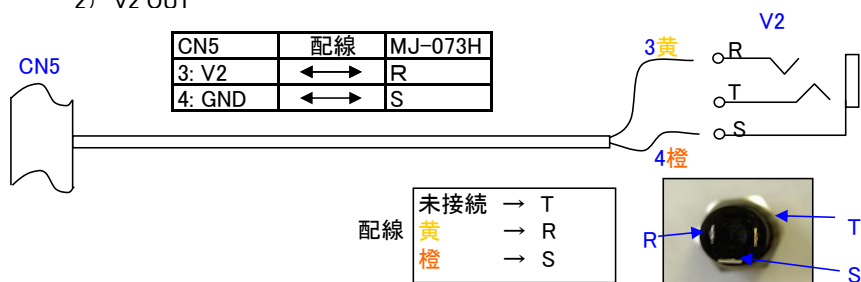
4、配線



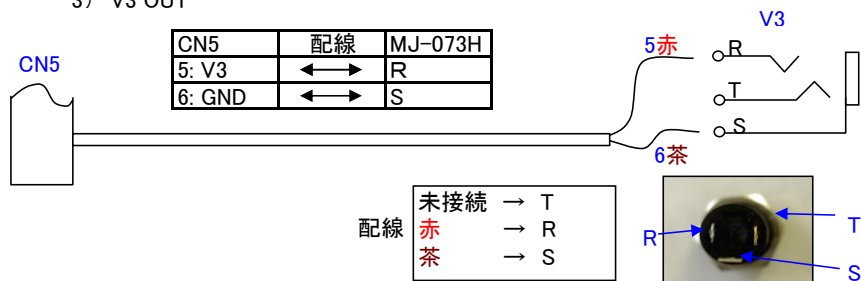
1) V1 OUT



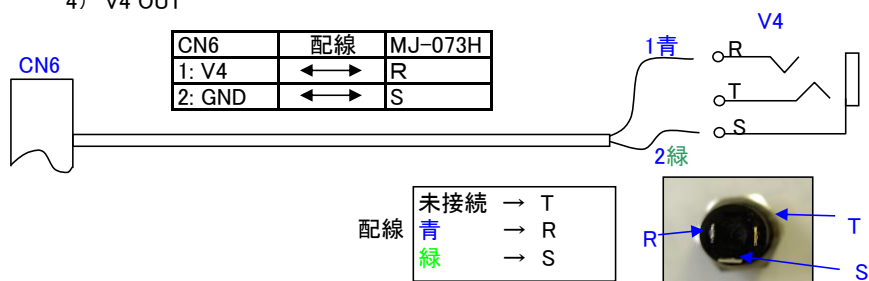
## 2) V2 OUT



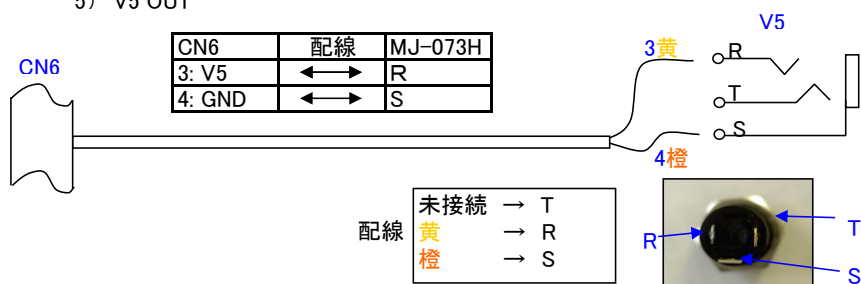
## 3) V3 OUT



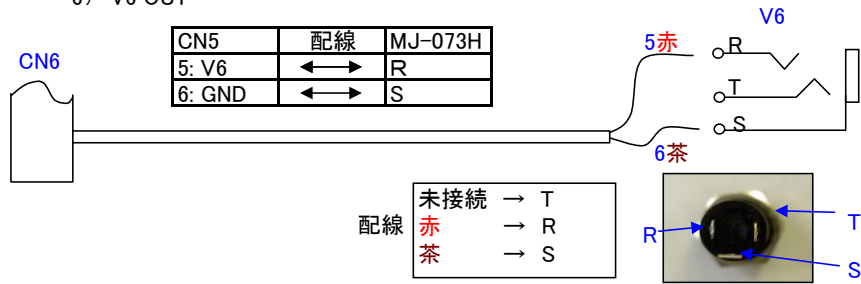
## 4) V4 OUT



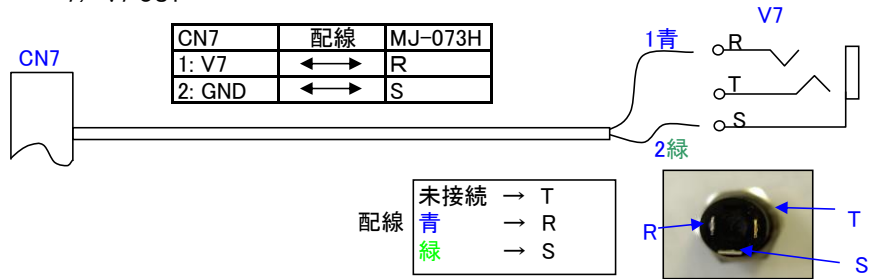
## 5) V5 OUT



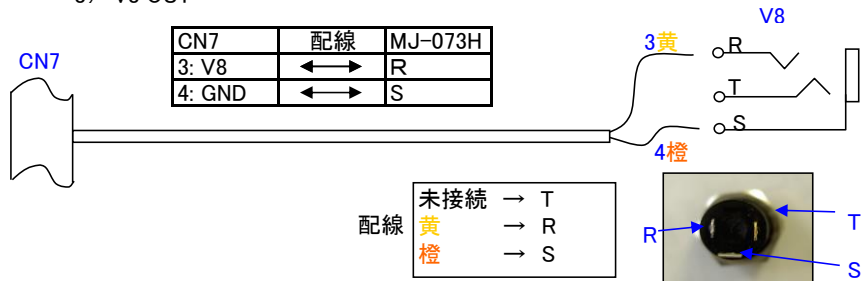
6) V6 OUT



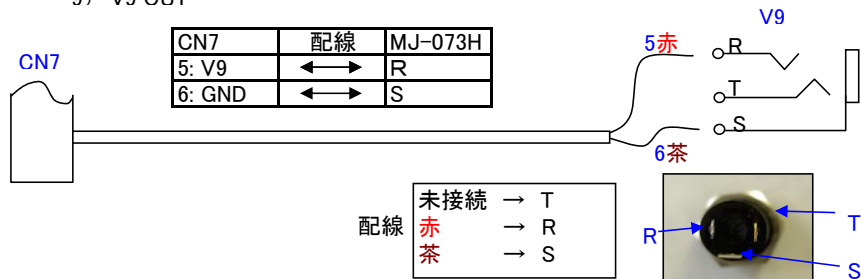
7) V7 OUT



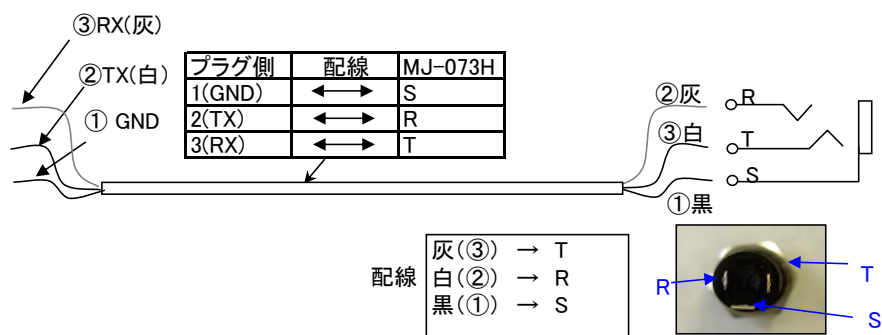
8) V8 OUT



9) V9 OUT

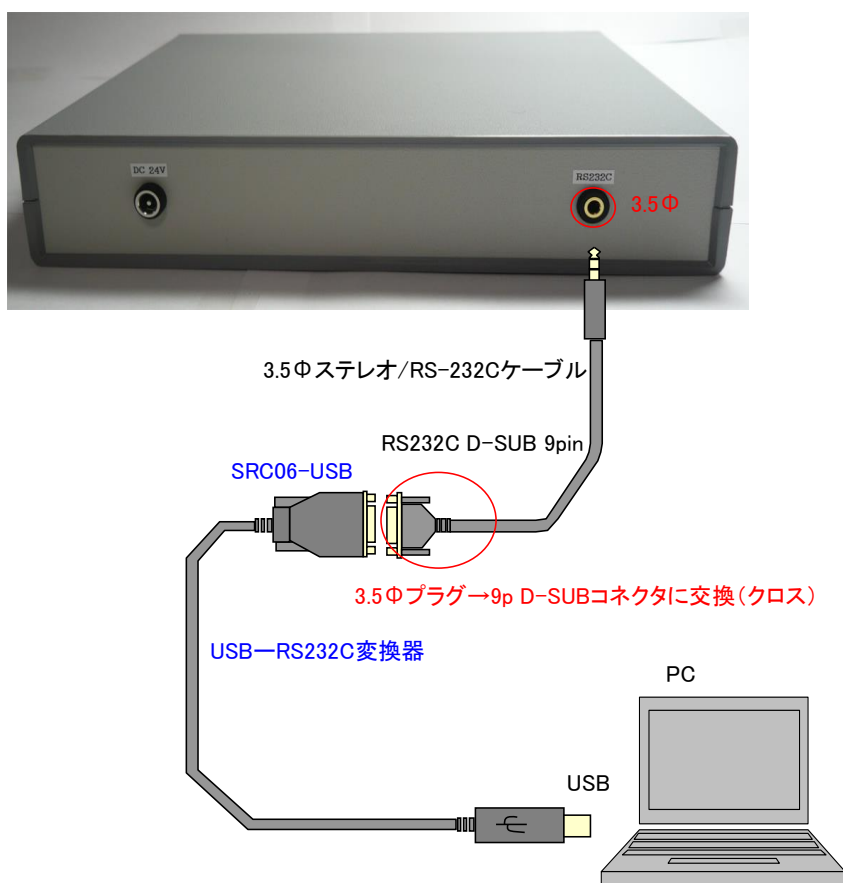


# 10) RS-232C



## 5、PCとの接続

PCとの接続は下図のRS232C通信となります。



## 6、接続系統

PCよりRS232C経由で振動スピーカ駆動装置の出力周波数を制御

